

事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人ハーモニークラブ
事 業 名 称	えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日
1. 事業の目的	長期的な視点(複数年単位)で記入 (1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) ・日本人の幸福度が低い原因の一つに、自己肯定感が低いと言われている。 (2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) ・親の自己肯定感の低さが子どもに影響することに気づき、子どもだけでなく親や周りの大人も自分を肯定的に捉える機会を提供したいと考えたため。 (3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) ・親や周りの大人は子どもへの肯定的な関わりが不足している。(価値観の負の連鎖) (4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) ・幼少期的人格形成の基礎となる時期に、ありのままの自己を受入れ、他者のありのままも認め合える心の豊かさを育める場をつくる。 ・保育の質の向上や新たな保育の担い手を応援する。
	事業実施期間の視点(単年度)で記入 (5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) ・子どもも大人も一緒に楽しみながら、体験を通して自己肯定感を育み、「ありのままに生きる」大切さを考えるきっかけにしてもらうことを目的とする。 (6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 <枚方市民への効果> (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・枚方市の子どもやその親世代及び保育に携わる人が、えほんライブの音楽や物語に癒され、自分を肯定的に捉える心のゆとりが生まれる。 ・地域交流が促進され、子育ての孤立を防ぎ育児の負担感が軽減できる。 <確認方法> (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) ・参加者にアンケートを実施し、ヒアリングを行う。
2. 事業内容等	(1) 事業の対象者(例:枚方市内に住む10代から20代の人 など具体的に) ①えほんライブや体験型活動 ・親子広場: 枚方市内の幼児と親、保育園児、保育士など教育関係者 ・イベント: 子どもをメインに地域一般の人 ・体験講座: 枚方市内でボランティアをはじめたい学生や一般の人

	②保育サロン： 保育やえほんライブに興味のある人、保育士等の教育関係者、学生、子育て支援に携わる人、子育て中の親等 ③えほんライブ体験型コンサート：えほんライブを観客の前で表現したい小学生以上の人
	(2) 事業の実施場所（移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること） ①えほんライブや体験型活動 ・親子広場： 岡本町会館(おやこ広場とんとんとん) ・イベント： 岡本町公園付近等(さくらマルシェ、子ども食堂だよ全員集合、五六市) 枚方市内の小学校(おしごとマルシェ) ・体験講座： 枚方市内の公共施設(ボランティア体験講座) ②保育サロン： オンラインまたは枚方市内の公共施設でのリアル開催 ③えほんライブ体験型コンサート： 枚方市内の公共施設
	(3) 事業内容 ①えほんライブや体験型活動の無料実施 ・親子広場では、えほんライブ(絵本の世界と音楽の世界が一体となったオリジナル作品で、朗読と歌や音楽、映像など用いたライブ)や体験型活動(音楽活動や工作、体を使った簡単な遊び、ゲーム等)を組み合わせ、親子のふれあい遊びを実施する。 ・イベントでは、えほんライブのステージ演奏や出展ブースでの工作、アフレコ体験ワークショップなど各イベントに合わせた体験型活動を実施する。 ・体験講座では、えほんライブとワークショップを組み合わせた体験型講座を開催する。 ②保育サロンの開催 保育や教育についての情報交換、保育現場の課題等について語る場を開催する。えほんライブや保育コンテンツのレクチャーや新規コンテンツのアイディア収集を行う。 ③えほんライブ体験型コンサートの開催 子どもたちがえほんライブのパフォーマンスができるよう、練習指導を行ったうえコンサートの場で発表を行う。
3. 実施スケジュール	(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可 ① えほんライブや体験型活動 ・親子広場： おやこ広場とんとんとん(年間3～4回程度) ・イベント： さくらマルシェ(4月)、子ども食堂だよ全員集合(12月)、おしごとマルシェ(年間1～3回程度)、五六市(年間1～2回程度) ・体験講座： ボランティア体験講座(1回程度) ② 保育サロン： 月1～2回を目安に、年間20回程度 ③えほんライブ体験型コンサート：練習3回、リハーサル1回、コンサート本番1回
4. 事業実施の体制	(1) 人員体制（実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること） ・パフォーマー及びスタッフ1回あたり2～6名程度配置(正会員、パフォーマー養成講座受講者) (2) 事業対象者の見込み数（例：参加者●名など現時点の想定人数を記入すること） ①えほんライブや体験型活動 ・親子広場：参加者延べ約 100 名 (各回あたり地域親子約 10～15 名、保育士約 5 名、園児約 15 名)

	・イベント:参加者延べ約 200 名 (各回あたりステージ観客約 50 名、工作やワークショップ約 25 名) ・体験講座:参加者延べ約 10 名(各回あたり 2~10 名) ②保育サロン:参加者延べ約 100 名(各回あたり 1~10 名) ③えほんライブ体験型コンサート:練習参加者 5~10 名、コンサート観客約 100 名 (3) その他の体制 (寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること) 連携団体:ひらかた子育て支援ネットワーク(おやこ広場とんとんとん、さくらマルシェ主催)、 NPO 法人子ども食堂ファンクラブ(子ども食堂だよ全員集合主催)、 任意団体子どもは未来(おしごとマルシェ主催)、 一般社団法人枚方宿くらわんか五六市(五六市主催)、 近畿大学放送局(えほんライブ体験コンサートの舞台裏方協力) 枚方市社会福祉協議会、ひらかた市民活動支援センター
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること) 財源の確保策として、有料えほんライブ公演の実施や寄附のお願いを行うとともに、民間助成の活用を検討する。当申請事業以外では、枚方市社会福祉協議会の助成金を受けた作品コンテンツの充実や保育スキルアップ支援を行う。 賛同者の確保策として、市内のイベントに参加するとともに、ボランティア体験を積極的に受け入れ活動の理解と継続意欲を促す。
6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み	・2020 年度から枚方市 NPO 活動応援基金の支援を受け、保育園でのえほんライブ実績作り、親子広場やイベントでの上演、保育サロン等によって認知が広がり、有料公演の依頼につながっている。またボランティア体験講座等から新しい賛同者も増加した。昨年度は小学生向けの内容を職業体験型に改良し、えほんライブの一部をアフレコ体験するワークショップを実施、おしごとマルシェで好評を得た。 ・新たな取り組みとして、アフレコ体験で興味を持った小学生等に対し、練習を継続して観客の前でパフォーマンス体験ができる体験型コンサートを実施し、えほんライブの実践体験を通して自己肯定感を育む取り組みを行う。また、これからも保育に興味のある学生を積極的に受入れ、保育の担い手支援とともに、保育園と学生とをつなぐ役割を目指す。
7. 事業の PR 方法	(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること) 当団体の SNS(ホームページ、LINE、Facebook、ブログ、インスタグラム)から情報発信で認知の拡大を図る。イベントでチラシやパンフレットを配布する。
8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	助成金等の予定 ☒ 有り (申請中を含む) ・ 無し (本補助金のみ) 助成金等の名称 (子どもゆめ基金) 申請中の場合、申請結果が確定する予定日 (令和 7 年 4 月 頃の見込み)
9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	・当団体のえほんライブはオリジナル作品であり、作品の世界観が自己肯定感を育む内容になっていて、作品理解によって肯定感が深まる気づきが得られ、心の安泰を導く道標となっている。 ・参考資料:パンフレット添付

「えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業」

2025 年度実施スケジュール(予定)

1)事業内容

- ①えほんライブや体験型活動の無料実施（10 回程度：親子広場 3～4 回、イベント 4～6 回、体験講座 1 回）
- ・親子広場（おやこ広場とんとんとん）
（当日）準備 9:30～、えほんライブや体験活動 10:00～11:30、片付け～12:00
 - ・イベント（さくらマルシェ、子ども食堂だよ全員集合、おしごとマルシェ、五六市）
（当日）準備・リハーサル 9:30～、ステージやワークショップ、撤収～15:30
 - ・体験講座（ボランティア体験講座）（当日）講座時間 1 時間 30 分、準備片付け 1 時間
- ②保育サロンの開催（20 回程度：月 1 回程度のオンライングループサロン、個別サロン）1 回あたり 1 時間
- ③えほんライブ体験型コンサート（5 回程度：練習 3 回、リハーサル 1 回、コンサート発表 1 回）

<年間予定表>

内容	①えほんライブや体験型活動の無料実施		②保育サロンの開催	③えほんライブ体験型コンサート
	出演当日	事前準備		
2025 年 4 月	・さくらマルシェ 4/5	ひらかた子育て支援ネットワーク会議	月 1～2 回程度目安に、年間 20 回程度実施	
5 月	・おしごとマルシェ(仮)	おしごとマルシェ会議、ひらかた子育て支援ネットワーク会議		広報開始
6 月	・親子広場 6/2(仮) ・五六市 6/8(仮)			練習指導講師打合せ、コンサート会場及び裏方打合せ
7 月				・練習 7/24(仮)
8 月		ボランティア体験講座募集の広報開始		・練習 8/7,8/21(仮) ・リハーサル 8/30(仮) ・コンサート 8/31(仮)
9 月		ひらかた子育て支援ネットワーク会議		
10 月	・親子広場 10/6(仮) ・ボランティア体験講座(仮)	おしごとマルシェ会議		
11 月	・おしごとマルシェ(仮)	子ども食堂イベント会議		
12 月	・子ども食堂だよ全員集合！12/6(仮) ・ボランティア体験実践 12 月～随時			
2026 年 1 月		ひらかた子育て支援ネットワーク会議		
2 月	・親子広場 2/2(仮)			
3 月				
広報	・SNS を活用して PR ・対象者に合わせたパンフレットやチラシ配布 チラシふるさと納税3種類 （・年間予定お知らせ ・ボランティア体験募集 ・保育サロン募集） パンフレット2種類（・親子向けパンフレット ・法人パンフレット）			・SNS ・チラシ配布 （えほんライブ体験型コンサート参加者募集）

事業収支予算書

団体名： 特定非営利活動法人ハーモニークラブ

補助対象事業の名称：	えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業
------------	---------------------------

事業実施期間： 令和7年 4月～ 令和8年 3月

【収入の部】

項 目 ※ 1	予算額(円)	内容説明（積算根拠等）
枚方市補助金（一般）（A）	300,000	補助金交付申請額（一般寄附）
枚方市補助金（団体）（B）	40,000	補助金交付申請額（団体希望寄附）
自己資金	472,000	会員費、寄附
参加料	21,000	イベントブース参加料
合 計 (C)	833,000	

【支出の部】

項 目	予算額(円)	内容説明（積算根拠等）
補助対象経費	人件費 635,000	①えほんライブと体験型活動(10回程度) (@3,000×45人+@6,000×12人) +会議参加(8回程度) (@1,200×15人) +印刷文書作成及び配布資料や工作下準備(15回程度) (@1200×60人) = <u>297,000円</u>
		②保育サロン開催(20回程度) @1,200×延40人程度= <u>48,000円</u>
		③えほんライブ体験型コンサート(練習3回, ⅴ, 当日) (@5,000×24人+@10,000×11人) +印刷文書作成及び教材作成 (@10,000×6人) = <u>290,000円</u>
	交通費 55,000	①②の交通費(6回程度) @1,000×延30人程度= <u>30,000円</u> ③の交通費(5回程度) @1,000×延25人程度= <u>25,000円</u>
	印刷製本費 33,000	①②の印刷代(チラシ3種類及びパンフレット2種類) 13,000円+コピー代(講座資料3回程度及びアンケート) 2,000円= <u>15,000円</u> ③の印刷代(チラシ) 3,000円+(台本) 10,000円+(資料) 5,000円= <u>18,000円</u>
	謝礼 40,000	③の舞台裏方謝礼(設営、音響、照明、撮影) @10,000×4式
	消耗品費 40,000	①の工作用材料費(@1,000×3回程度+@5,000×4回程度)+布おもちゃ材料費 7,000円= <u>30,000円</u> ③の工作材料費 @1,000×10人程度= <u>10,000円</u>
	会議費 28,000	①②の会議室代(10回程度) 10,000円+③の練習及びコンサート会場代(練習3回, 設営会議, ⅴ, 当日) 18,000円
	雑費 2,000	①のイベント出展料 @1,000×2回
小 計 (E)	833,000	
補助対象外経費		
小 計	0	
合 計 (D)	833,000	

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。

※3：枚方市補助金（一般）（A）は、補助回数により記入可能な金額が異なります。

（詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること）

※4：枚方市補助金（団体）（B）は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。

（通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること）